

ラヂオきしわだ番組審議委員会第十七回議事録

開催日時 平成 26 年 2 月 21 日 14 時半から 15 時半

場所 ラヂオきしわだ事務局

ご出席委員	片山智信	ご欠席委員	杉本昇
	谷口真澄		西村静代
	永谷裕久		芦田有香
	近松健二		

放送局長 八木雄一郎 同席

事務局長 北野忠夫 同席

理事 片山陽子 同席

1. 番組編成概要

番組審議委員長の片山智信氏が開会を告げ、八木局長から、3月からの番組編成について以下のように報告をした。

- ① 3月からの番組表をお渡しして、午後10時で終わっていた原則生番組を、(午後10時以降の番組は自社制作の音楽CD「ラヂきし音楽の世界」を放送している)を最大午前1時まで延長することを企画し、月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日を実施する予定であることを紹介する。これは「再放送がないの?」という問い合わせや、深夜番組をやりたいという出演者がいることに応えたものであることを説明。但しこれは、深夜帯の時間であるため、再放送とカンパケで放送素材のもらえるもので編成することを説明する。またこれらの番組がトーク主体の番組であるため、JASRAC に支払う著作権料が安くなることを見込まれることも説明する。
- ② 今後、ラヂオきしわだの活動が目に見えるような方向でやって行く考えを表明し、具体的には3月14日には映画「ガレキとラジオ」の上映会を、また5月13日には開局3周年として「程さんのジャズライブ」をそれぞれ浪切ホールの小ホールで開催することを紹介する。
また、外へ出て行った番組として、2月2日に行われた修斉地区の避難訓練を実況中継したことを報告し、前回の審議委員会で予定をしていると紹介した、泉州国際マラソンの中継は実行委員会より今年は予算がないということで断念したことを報告した。

2. ご審議頂く番組

- ①ひとつは「真夜中の cat's 愛」で、前述の深夜枠の番組の一つで、土曜日の24時から1時間の放送。三人の女性パーソナリティが三匹の猫の姉妹という設定で、「さまざまの愛をキャッチして貴方に愛のスパイスをお届けします」をキャッチフレーズに、男性ゲストを招いてトークを繰り広げるといふ番組。
- ②もう一つは月曜日の午後4時からの「団塊散歩のカフェタイム」の中で隔週くらいに登場する

訪問取材番組「和子の街歩きシリーズ」から「兵主神社の十日戎の時の甘酒作りについて」。

③片山委員長より、「深夜の番組について、人の問題、事務所の問題はないんですね」という確認に対して八木局長より、収録したものを編成機に登録しておけばいいので、自動的に再放送されるので、その時間に局にいる必要はないことを説明する。

④永谷委員からのちほど、現地取材番組あるいは中継番組については、リスナーが行けるかどうかポイントであり、頭の中で位置が描けるように場所の説明、アクセスあるいはどうして行くかを述べるのが肝要とのご指摘があった。

3.番組放送及び番組に対するご意見

①片山委員長より「みんなボランティアでよくやってくれている」という話があり、「いつもノーギャラでやってくれている」「ほかの所でもラヂオきしわだの宣伝もしてくれている」など程さんの事を例に挙げての感想があった。

②「いかにして聞いてもらうか」が大事で、「聞かれへん」という話を時々聞くということに対して、八木局長より鉄筋の建物間、神於山の向こうあたり、あるいはくぼ地等は電波が届きにくい場所になることを説明する。総務省から中継局を作るかの問合せがあり、神於山の頂上にKDDIの鉄塔があり、そこを中継地にする、あるいはそこから岸和田に向けて発信すれば今より良く聞こえることを説明する。これは国の国土強靱化、IT強靱化の政策によるもので、三分の一が自己負担、三分の二が国庫の予算ということになっており、検討中であることを説明する。

片山委員長より、二次災害を防ぎ、災害時に一番役に立つのがFMラジオなので、市民の安心・安全のため、補助事業でやる、行政から金を引き出すことが妥当だと考えるのご意見があった。

③八木局長より3月12・13日と競輪場の工事に伴い停電となるので、発電機を回して自家発電で放送をすることにしており、災害時の模擬訓練とすることができると説明する。

④片山委員長より人員のローテーションが軌道にのっているかとの質問があり、時節柄4月は卒業、就職、転勤などのシーズンでメンバーの交代の時期で支障のないようにやっていきたい旨を八木局長より答える。

⑤近松委員より特番の時間枠についてご質問があり、八木局長より、日曜日の9時から午後1時によく組んでいることを説明する。4月にはお城まつりを予定していることも紹介する。

⑥近松委員より浪切ホールでの催しものと連動させる番組についてのご質問があり、八木局長より特番の枠はとれるとお答えをする。片山委員長より「スポンサーがついていないのでやりやすい」とのお話があり、八木局長より中継などの生放送ではCMはtakeで流している（番組に挿入する）、あるいは時報の前に流していると答える。

⑦八木局長より、ラヂオきしわだの周知促進活動について、パーソナリティの一人である本庄強氏がラジオをお店などに設置してもらい、番組でも「今週、此处と此处にラジオをおいてもらいました」ということを紹介する活動をしていると説明する。また市の広報公聴課に「広報きしわだ」にラヂオきしわだの毎朝9時からの「こちら広報室」をもっと聞いてもらえる様に広報にのせていただくことを依頼しているが、「業務委託をしていないのでできない」という返事である。但し3月14日の「ガレキとラジオ」の映画上映会は広報にのせてくれることになったことを紹介する。

4. 委員長の交代

片山委員長より開局より3年間任に当たってきたこと、多忙になって来たことを理由に委員長を辞したい旨の表明があり、互選の結果永谷委員に4月から委員長をお引き受け頂くことになった。片山氏は委員としては引き続き番組審議委員会に委員としてとどまっていたことになった。

次回の番組審議委員会を4月18日（金）午後2時より開催することを確認して閉会した。

以上